

1 月定例教育委員会

資料報告

※資料配布での報告とさせていただきます。
※御質問があれば、御連絡ください。

○資料報告一覧

- 元寇（水中遺跡）に関する取組（パンフレット作成）について
（学芸文化課）
- 第69回長崎県小・中学校児童生徒美術作品展「子ども県展」
について
（学芸文化課）
- 令和5年度年末・年始各種全国大会結果について
（体育保健課）
- 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果
について
（体育保健課）

上海圖書館藏書

目錄

一、上海圖書館藏書之概況
二、上海圖書館藏書之分類

一、總論

上海圖書館藏書之概況，自清光緒年間創辦以來，歷有年所，其藏書之豐富，已為中外人士所公認。茲將該館藏書之分類，分述於後。

上海圖書館藏書之分類，係根據《中國圖書館分類法》之原則，分為五大類，即：文學、歷史、地理、科學、藝術。

茲將上海圖書館藏書之分類，分述於後。茲將上海圖書館藏書之分類，分述於後。

茲將上海圖書館藏書之分類，分述於後。茲將上海圖書館藏書之分類，分述於後。

件名	元寇（水中遺跡）に関する取組（パンフレット作成）について									
概要	<p>1 目的</p> <p>松浦市鷹島では、元寇に関する出土遺物や元寇船が確認され、水中遺跡の調査研究等を行ううえでは、有効な場所であることから、水中遺跡としては国内初「鷹島神崎遺跡」として国の史跡に指定（H24年3月）された。</p> <p>国においても、現在、水中遺跡に関する気運醸成に取り組んでいるが、水中遺跡に関する認知度が低いことから、本県においても、元寇をテーマに松浦市、対馬市、壱岐市と連携しながら、「水中遺跡」を知る機会を創出するためのシンポジウムの開催やパンフレット作成のほか、この素材を活用した地域振興を図っていく。</p> <p>2 主催 長崎県教育委員会</p> <p>3 共催 松浦市教育委員会 対馬市教育委員会 壱岐市教育委員会</p> <p>4 取組</p> <p>○シンポジウムの開催</p> <table border="0"> <tr> <td>一支国博物館</td> <td>令和5年10月28日（土）</td> <td>13:30～15:30</td> </tr> <tr> <td>対馬交流センター</td> <td>令和5年11月19日（日）</td> <td>9:30～11:30</td> </tr> <tr> <td>長崎歴史文化博物館</td> <td>令和6年 1月27日（土）</td> <td>13:30～15:30</td> </tr> </table> <p>○発掘された日本列島サテライト地域展示 令和5年11月11日（土）～令和6年1月8日（月） 対馬市交流センター（研修室）</p> <p>○パンフレット作成（別添資料 72,000部作成）及び配布場所 ・松浦市埋蔵文化財センター、一支国博物館、対馬博物館、長崎歴史文化博物館 ほか</p>	一支国博物館	令和5年10月28日（土）	13:30～15:30	対馬交流センター	令和5年11月19日（日）	9:30～11:30	長崎歴史文化博物館	令和6年 1月27日（土）	13:30～15:30
一支国博物館	令和5年10月28日（土）	13:30～15:30								
対馬交流センター	令和5年11月19日（日）	9:30～11:30								
長崎歴史文化博物館	令和6年 1月27日（土）	13:30～15:30								

件 名	第69回長崎県小・中学校児童生徒美術作品展「子ども県展」について																			
概 要	<p>1 目 的 県内全ての小・中学生を対象に作品を募集し、作品展を開催することにより、小・中学生の図画工作・美術に対する関心を高め、併せて、創造の喜びを体験させ、豊かな心を養い、造形活動の活性化を図る。</p> <p>2 主 催 長崎県教育委員会 長崎県造形教育研究会</p> <p>3 共 催 長崎市教育委員会 佐世保市教育委員会 壱岐市教育委員会</p> <p>4 出品規定 (1) 対 象 県内の小学校、中学校、義務教育学校並びに特別支援学校の小学部及び中学部の児童生徒が本年度、授業で制作した作品 (2) 部 門 絵画・版画・デザイン・立体 (デザインと立体は中学生のみ)</p> <p>5 審 査 (1) 一次審査 …… 県内17ブロックで審査を実施し「入選」を決定 (2) 二次審査 …… 長崎市で審査を実施し「特選」を決定 (3) 特別賞審査 …… 長崎市で審査を実施し「特別賞」を決定</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>85,503人</td> <td>85,605人</td> </tr> <tr> <td>作品数</td> <td>115,254点</td> <td>114,720点</td> </tr> <tr> <td>入選数</td> <td>8,683点</td> <td>8,183点</td> </tr> <tr> <td>特選数</td> <td>770点</td> <td>770点</td> </tr> <tr> <td>特別賞数</td> <td>60点</td> <td>60点</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 作品展 ○ 総合展 長崎県美術館 県民ギャラリー 1月16日(火) ～ 1月21日(日) ○ 巡回展 佐世保市博物館島瀬美術センター 1月31日(水) ～ 2月 4日(日) 壱岐の島ホール 2月15日(木) ～ 2月19日(月)</p> <p>7 表 彰 ○ 特別賞 知事賞、教育委員会賞、造形教育研究会賞 各20名 計60名</p> <p>8 表彰式 (1) 日 時 1月21日(日) 13:30～14:30 (2) 場 所 長崎県庁1階 ABC会議室</p>			令和5年度	令和4年度	参加者数	85,503人	85,605人	作品数	115,254点	114,720点	入選数	8,683点	8,183点	特選数	770点	770点	特別賞数	60点	60点
	令和5年度	令和4年度																		
参加者数	85,503人	85,605人																		
作品数	115,254点	114,720点																		
入選数	8,683点	8,183点																		
特選数	770点	770点																		
特別賞数	60点	60点																		

件 名	<p align="center">第3回長崎県中学生ビブリオバトル大会について</p>
概 要	<p>1. 開催の趣旨 ビブリオバトルは、出場者一人一人がお気に入りの本を持ち寄り、その本の魅力などを紹介する書評合戦であり、読書が自分一人だけのものから、複数の人と人をつなぐコミュニケーションツールに変わる楽しさを体験できる活動である。ビブリオバトルの県大会を開催することで、県内中学生の読書に対する興味・関心を喚起し、自主的・自発的に読書に親しむ機会の充実を図る。</p> <p>2. 日時 令和5年12月10日（日）12：45～15：50</p> <p>3. 会場 ミライ on 図書館</p> <p>4. 参加者 (1) バトラー（出場者）12名（市町立10、県立1、私立1） (2) 参観者87名</p> <p>5. 投票結果 【最優秀賞】 著書「世界でいちばん透きとおった物語」 時津町立時津中学校 2年 入口蒼大（いりぐちそうた） 【優秀賞】 著書「ホームレス中学生」 大村市立大村中学校 3年 池田 巧（いけだたくみ） 【敢闘賞】 著書「隣はシリアルキラー」 西海市立大崎中学校 2年 内野美輝（うちのみき） 著書「〇〇〇〇〇〇〇〇殺人事件」 長崎県立長崎東中学校 2年 秀島 鳴（ひでしまなる）</p>

件名	令和5年度年末・年始各種全国大会結果について
概要	<p>1 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●別添一覧表のとおり

令和5年度年末・年始各種全国大会結果について

体育保健課

令和5年度冬季全国大会出場校（チーム）一覧

2024年1月9日現在

区分	競技名	大会名	会場	大会期日	性別	出場校等	備考	組合せ（結果）
高	駅 伝	令和5年度全国高等学校総合体育大会 (男子74回・女子35回)全国高等学校駅伝競走大会	京都市西京極陸上競技場 付設駅伝コース(京都府)	12/24(日)	男子	鎮西学院高等学校	3年ぶり16回目	23位
					女子	諫早高等学校	5年連続29回目	22位
	ラ グ ビ ー	令和5年度全国高等学校総合体育大会 第103回全国高等学校ラグビーフットボール大会	近鉄花園ラグビー場 (大阪府)	自:12/27(水) 至:1/7(日)	男子	長崎南山高等学校	3大会ぶり7回目	1回戦 28-26 山梨学院(山梨) 2回戦 5-71 国学院栃木(栃木) 敗退
	サ ッ カ ー	第102回全国高等学校サッカー選手権大会	東京、神奈川、埼玉、千葉	自:12/28(木) 至:1/8(月)	男子	長崎総科大付属 高等学校	2年ぶり9回目	1回戦 2-3 帝京長岡(新潟) 敗退
					女子	出場なし		
バスケットボール	WINTERCUP2023 第76回全国高等学校バスケットボール選手権大会	東京体育館/大田区総合体育館 (東京都)	自:12/23(土) 至:12/29(金)	男子	瓊浦高等学校	24年ぶり7回目	1回戦 68-87 帝京安積(福島①) 敗退	
				女子	島原中央高等学校	初出場	1回戦 60-84 鳥取城北(鳥取) 敗退	
等	バレーボール	ジャパネット杯春の高校バレー 第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会	東京体育館 (東京都)	自:1/4(木) 至:1/8(月)	男子	大村工業高等学校	2年連続20回目	1回戦 2-0 山形中央(山形) 2回戦 2-0 洛南(京都) 3回戦 0-2 福井工大福井(福井) 敗退
					女子	純心女子高等学校	49年ぶり9回目	1回戦 0-2 長岡商業(新潟) 敗退
学	弓 道	第42回全国高等学校弓道選抜大会	東京武道場 (東京都)	自:12/23(土) 至:12/25(月)	男子	長崎北陽台高等学校	7年ぶり3回目	予選通過 1回戦 8-6 紀央館(和歌山) 2回戦 9(1)-9(2) 報徳学園(兵庫) 敗退
					個人	井手 凌吾(西陵)		予選敗退
					個人	久保田悠陽(長崎北陽台)		予選敗退
					女子	島原高等学校	2年連続6回目	予選敗退
					個人	宮崎 妻那(島原)		予選敗退
					個人	吉田妃奈乃(純心女子)		予選敗退
校	スポーツクライミング	第14回全国高等学校選抜 スポーツクライミング選手権大会	加須市民体育館 (埼玉県)	自:12/23(土) 至:12/24(日)	男子	大村高等学校	4年ぶり11回目	13位
					個人	原川 京一郎(大村)		95位
					個人	岸川 横吾(大村)		81位
					女子	大村高等学校	6大会連続12回目	13位
					個人	本田 雪乃(大村)		82位
					個人	広瀬 莉子(大村)		78位
					個人	古賀 日和(長崎北)		38位

令和5年度年末・年始各種全国大会結果について

体育保健課

令和5年度冬季全国大会出場校（チーム）一覧

2024年1月9日現在

区分	競技名	大会名	会場	大会期日	性別	出場校等	備考	組合せ（結果）
中 学 校	駅 伝	令和5年度 第31回全国中学校駅伝大会	滋賀県希望が丘文化公園 スポーツゾーン芝生ランド (滋賀県)	12/17(日)	男子	諫早市立西諫早中学校		15位 3区(3Km)百田選手 区間賞(09'27")
					女子	諫早市立西諫早中学校		31位
	バレーボール	第37回全国都道府県対抗中学校バレーボール大会	大阪市中央体育館他 (大阪府)	自:12/25(月) 至:12/28(木)	男子	長崎県選抜チーム		予選リーグ 2-0和歌山 2-0石川 決勝T進出 決勝T1回戦 2-0愛知 決勝T2回戦 2-0大阪北 決勝T準々決勝 0-2京都 敗退
					女子	長崎県選抜チーム		予選リーグ 2-1広島 2-1岐阜 決勝T進出 決勝T1回戦 2-1熊本 決勝T2回戦 0-2千葉 敗退
	ハンドボール	第32回JOCオリンピックカップハンドボール大会	とくぎんトモアリーナ他 (徳島県)	自:12/24(日) 至:12/27(水)	男子	出場なし		
				女子	長崎県選抜チーム		予選リーグ 16-30東京 15-12宮城 敗退	
	ラグビー	第29回全国ジュニアラグビーフットボール大会	江東区夢の島競技場(東京都)	自:12/23(土) 至:12/25(月)	男子	長崎県選抜チーム		第1グループBパート 4位 1回戦 11-19京都府中学選抜 3位決定戦 18-28神奈川県スクール代表
一 般	駅 伝	天皇盃 第28回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会	広島県	1/21(日)	男子	長崎県選抜チーム		1月21日開催予定
		皇后盃 第41回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会	京都府	1/14(日)	女子	長崎県選抜チーム		1月14日開催予定
		第67回全日本実業団対抗男子駅伝競走大会	群馬県前橋市	1/1(月)	男子	三菱重工	15年連続28回目	5位(4年連続入賞)

件名	令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について
概要	<p>1 調査期間 ●令和5年4月～7月</p> <p>2 調査対象及び参加状況 () は全国 ●小学校5年生及び中学校2年生(義務教育学校、特別支援学校を含む) ●長崎県 小学生 10,789人(公立学校 977,758人) 中学生 10,063人(公立学校 867,847人) ※平成23年度は東日本大震災の影響により全国調査は中止。 ※令和2年度は新型コロナウイルスの影響により調査を中止。</p> <p>3 調査内容 (1) 実技に関する調査(新体力テスト) 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、持久走・シャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ボール投げ(以上8種目) ※小学5年生はシャトルラン。中学2年生は、持久走・シャトルランのどちらかを選択。 (2) 質問紙調査 運動習慣、食習慣、生活習慣、学校体育の指導等</p> <p>4 調査結果における全国の概要 ○体力合計点については、令和4年度調査との比較では回復基調であるが、コロナ以前の水準には至っていない。 ○令和4年度と比較すると、小・中学校ともに回復の度合いに男女間で差がある。 ○体育の授業以外での運動時間は、減少傾向が続いている。</p> <p>5 調査結果における本県の概要 (1) 体力テスト合計点における本県の平均点 ※合計点は80点満点 ●小学校5年生 男子 52.29点(全国 52.59点)(▼0.30点) 女子 53.79点(全国 54.28点)(▼0.49点) ●中学校2年生 男子 41.20点(全国 41.32点)(▼0.12点) 女子 47.53点(全国 47.22点)(△0.31点)</p>

(2) 本県の状況

①全国との比較

①握力	中学男女は全国平均値と同レベルであるが、小学男女が下回った。
②上体おこし	中学男女は全国平均値を上回っているまたは同レベルであるが、小学男女が下回った。
③長座体前屈	小学・中学男女で全国平均値を下回っており、柔軟性が本県の児童・生徒の課題である。
④反復横とび	中学男女は全国平均値を上回っているが、小学男女が下回った。
⑤持久走・シャトルラン	小学・中学男女で全国平均値を上回っており、中学生は全国トップレベルである。
⑥50m走	小学男女は全国平均値を上回ったが、中学男女は下回った。
⑦立ち幅跳び	小学・中学男女で全国平均値を上回った。
⑧ボール投げ	小学・中学男女で全国平均値を上回っているまたは同レベル。
合計点	中学男女で全国平均値を上回っているまたは同レベルであるが、小学男女は下回った。

②昨年度との比較

①握力	中学男で全国平均値と同レベルとなる値まで向上。
②上体おこし	中学男女は低下。
③長座体前屈	全国平均値を下回っているものの、小学男女で大幅に向上し、調査開始以来の最高値。
④反復横とび	小学男・中学男で向上。
⑤持久走・シャトルラン	小学・中学の男女ともに全国平均値を超える値であるが、中学女は低下。
⑥50m走	小学男が向上。
⑦立ち幅跳び	小学男女で全国平均値を超える値まで向上。
⑧ボール投げ	小学男が向上。
合計点	小学男は、全国平均値を下回っているが、昨年度よりも向上。小学女、中学男女は同レベル。

6 1週間の総運動時間の概要

- 「1週間の総運動時間が420分以上」の割合は、全国に比べると高い結果となった。しかし、小学・中学男女共に昨年度を下回った。
- 「1週間の総運動時間が0分」の割合が、昨年度に比べ増加した。特に、中学生女子の割合は、全国の傾向と同様に大幅に増加した。

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の概要について

■令和5年度と令和4年度の全国平均の比較

【表1】

◆前回の実技に関する調査結果との比較【R5年度とR4年度の全国平均の比較表】

種目	学年・性別・区分	小学校5年生(全国平均)						中学校2年生(全国平均)					
		男子(平均値)			女子(平均値)			男子(平均値)			女子(平均値)		
		有意差	R5	R4	有意差	R5	R4	有意差	R5	R4	有意差	R5	R4
1	握力(kg)	△	16.13	16.21	△	16.01	16.10	—	29.02	28.99	△	23.15	23.21
2	上体起こし(回)	○	19.00	18.96	○	18.05	17.97	○	25.82	25.74	△	21.62	21.67
3	長座体前屈(cm)	○	33.98	33.79	○	38.45	38.18	○	44.16	43.87	○	46.27	46.07
4	反復横とび(回)	○	40.60	40.36	○	38.73	38.66	○	51.22	51.05	△	45.65	45.81
5	持久走(秒)							○	409.02	409.81	△	306.26	302.89
6	シャトルラン(回)	○	46.92	45.92	△	36.80	36.97	—	78.07	78.07	△	50.70	51.60
7	50m走(秒)	○	9.48	9.53	△	9.71	9.70	○	8.01	8.06	○	8.95	8.96
8	立ち幅とび(cm)	○	151.13	150.83	△	144.29	144.55	○	197.02	196.89	△	166.34	167.04
9	ボール投げ(m)	○	20.52	20.31	○	13.22	13.17	○	20.40	20.28	△	12.43	12.45
	合計点(点)	○	52.59	52.28	—	54.28	54.31	○	41.32	41.04	△	47.22	47.42

- ※【有意差について】 ・「○」…昨年度より優れている 「△」…昨年度より劣っている 「—」…昨年度と同レベル
- ※【種目について】 ・「5」については、小学校は「シャトルラン」のみ、中学校は「持久走」又は「シャトルラン」のいずれかを選択
・「持久走」については、男子は1500m走、女子は1000m走
・「9ボール投げ」については、小学校は「ソフトボール投げ」、中学校は「ハンドボール投げ」
- ※【合計点について】 ・合計点は、小学校・中学校とも80点満点（1種目10点×8種目）

■令和5年度の全国平均と長崎県平均の比較

【表2】

◆実技に関する調査結果【全国平均と長崎県平均の比較表】

種目	学年・性別・区分	小学校5年生						中学校2年生					
		男子(平均値)			女子(平均値)			男子(平均値)			女子(平均値)		
		有意差	長崎県	全国	有意差	長崎県	全国	有意差	長崎県	全国	有意差	長崎県	全国
1	握力(kg)	△	15.90	16.13	△	15.82	16.01	○	28.95	29.02	○	23.04	23.15
2	上体起こし(回)	△	18.35	19.00	△	17.39	18.05	○	25.76	25.82	○	21.75	21.62
3	長座体前屈(cm)	△	32.28	33.98	△	36.49	38.45	△	42.18	44.16	△	43.84	46.27
4	反復横とび(回)	△	39.77	40.60	△	37.91	38.73	○	51.57	51.22	○	46.20	45.65
5	持久走(秒)							○	398.17	409.02	○	298.66	306.26
6	シャトルラン(回)	○	48.47	46.92	○	38.59	36.80	○	83.98	78.07	○	57.26	50.70
7	50m走(秒)	○	9.42	9.48	○	9.68	9.71	△	8.10	8.01	△	9.02	8.95
8	立ち幅とび(cm)	○	151.81	151.13	○	144.78	144.29	○	198.67	197.02	○	167.62	166.34
9	ボール投げ(m)	○	21.78	20.52	○	13.89	13.22	○	20.37	20.40	○	12.67	12.43
	合計点(点)	△	52.29	52.59	△	53.79	54.28	○	41.20	41.32	○	47.53	47.22

- ※比較に用いている全国の平均値は、公立学校の平均値
- ※【有意差について】 ・「○」…全国平均より優れているまたは同レベル 「△」…全国平均より劣っている
- ※【種目について】 ・「5」については、小学校は「シャトルラン」のみ、中学校は「持久走」又は「シャトルラン」のいずれかを選択
・「持久走」については、男子は1500m走、女子は1000m走
・「9ボール投げ」については、小学校は「ソフトボール投げ」、中学校は「ハンドボール投げ」
- ※【合計点について】 ・合計点は、小学校・中学校とも80点満点（1種目10点×8種目）

■令和5年度と令和4年度の長崎県平均の比較

【表3】

◆前回の実技に関する調査結果との比較【R5年度とR4年度の長崎県平均の比較表】

種目	学年・性別・区分	小学校5年生						中学校2年生					
		男子（平均値）			女子（平均値）			男子（平均値）			女子（平均値）		
		有意差	R5	R4	有意差	R5	R4	有意差	R5	R4	有意差	R5	R4
1	握力 (kg)	—	15.90	15.82	—	15.82	15.76	—	28.95	28.74	—	23.04	23.15
2	上体起こし (回)	—	18.35	18.15	—	17.39	17.37	△	25.76	25.99	△	21.75	22.09
3	長座体前屈 (cm)	○	32.28	31.54	○	36.49	35.82	—	42.18	42.35	△	43.84	44.25
4	反覆横とび (回)	○	39.77	39.46	—	37.91	38.15	○	51.57	51.02	—	46.20	46.23
5	持久走 (秒)	△	398.17	396.24	△	298.66	290.60	—	398.17	396.24	△	298.66	290.60
6	シャトルラン (回)	○	48.47	46.82	—	38.59	38.81	—	83.98	84.73	△	57.26	58.30
7	50m走 (秒)	○	9.42	9.51	—	9.68	9.69	—	8.10	8.13	—	9.02	9.04
8	立ち幅とび (cm)	○	151.81	149.76	○	144.78	143.32	—	198.67	198.08	△	167.62	169.09
9	ボール投げ (m)	○	21.78	21.34	—	13.89	13.91	—	20.37	20.24	—	12.67	12.76
合計点 (点)		○	52.29	51.41	—	53.79	53.67	—	41.20	40.90	—	47.53	47.94

※【有意差について】 ・「○」→昨年度より優れている 「△」→昨年度より劣っている 「—」→昨年度と同レベル

※【種目について】 ・「8」については、小学校は「シャトルラン」のみ、中学校は「持久走」又は「シャトルラン」のいずれかを選択
 ・「持久走」については、男子は1500m走、女子は1000m走
 ・「8ボール投げ」については、小学校は「ソフトボール投げ」、中学校は「ハンドボール投げ」

※【合計点について】 ・合計点は、小学校・中学校と各90点満点（1種目10点×8種目）

■1週間の総運動時間

【表4】

小学校

男子	0分	1~59分	60~419分	420分~
全国	4.6%	4.4%	40.9%	50.1%
長崎県	4.2%	4.1%	38.5%	53.2%

女子	0分	1~59分	60~419分	420分~
全国	6.9%	9.4%	56.4%	27.4%
長崎県	7.0%	9.6%	50.9%	32.5%

中学校

男子	0分	1~59分	60~419分	420分~
全国	9.4%	1.6%	11.4%	77.7%
長崎県	8.5%	1.4%	9.5%	80.6%

女子	0分	1~59分	60~419分	420分~
全国	20.8%	4.1%	17.9%	57.2%
長崎県	20.2%	3.8%	14.4%	61.6%



「蒙古襲来」の 痕跡を探る

～水中と陸上からのアプローチ～



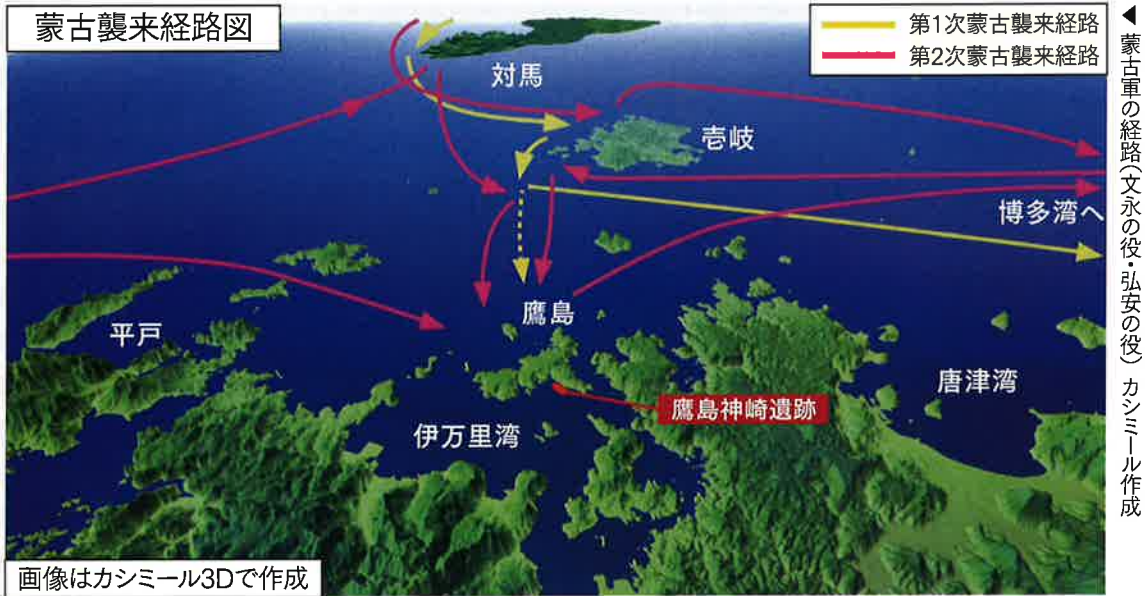
対馬市法清寺観音堂の本彫仏像群（県指定有形文化財）

プロローグ

「蒙古襲来」の痕跡を探る

～水中と陸上からのアプローチ～

「蒙古襲来」と現代(いま)



「国指定史跡鷹島神崎遺跡保存管理計画書」松浦市教育委員会 2014より



「アングルモア元寇合戦記」第1巻より
蒙古軍の対馬・佐須への襲来の様子

「蒙古襲来」(いわゆる元寇)は、
アジアからヨーロッパの一部まで版図を広げた
モンゴル帝国が2度にわたって日本に侵攻した出来事です。

近年、これを題材とした漫画「アングルモア元寇合戦記」やビデオゲーム「Ghost of Tsushima(ゴースト・オブ・ツシマ)」が大人気となり、それらを通して対馬や壱岐が戦いの場であったことを知ったという方もいることでしょう。さらに、松浦市鷹島沖では、海底遺跡から元の沈没船が発見され、いかりの引き揚げが行われたことも記憶に新しいところです。

令和6年(2024)は、最初の侵攻である「文永の役」(1274)から750年となります。松浦・壱岐・対馬における蒙古襲来に関する最新の調査成果をお伝えします。

近代における「蒙古襲来」

「蒙古襲来」の舞台となった場所で物的な手がかりを探してみると、明治期から昭和の初めにかけて祀られた神社、銅像や石碑などの祈念碑、蒙古軍の侵攻から神風による敗退までを描いた絵画など、比較的新しい時代のもので多いことに気づきます。福岡市の「元寇防塁」そのものは往時のものですが、これら近代の記念物は当時の歴史考証にもとづくもの、という前提で接する必要があります。



▲平景隆の墓
新城神社境内にあります

元寇防塁▶
福岡市早良区の
西南学院大学付近



▲小茂田浜神社鳥居(大正13年)
一般的には対馬で元寇の舞台として最も知られています



- 明治10年(1877) 平景隆の墓・新城神社(壱岐市)
- 明治37年(1904) 銅造亀山上皇立像(福岡県指定有形文化財)・銅造日蓮上人立像(福岡市指定有形文化財)
- 明治42年(1909) 矢田一嘯「蒙古襲来絵図」(うきは市、福岡県指定文化財)
- 明治43年(1910) 東公園パノラマ・ジオラマ館(福岡市)
- 大正13年(1924) 小茂田浜神社鳥居新設(対馬市)
- 昭和 6年(1931) 元寇防塁(福岡市)国史跡指定
- 昭和19年(1944) 壱岐神社創建(壱岐市)

水中と陸上からのアプローチ

長い間、「蒙古襲来」に関する直接の物証としては、博多湾岸ののこる元寇防塁が知られているのみでしたが、昭和49年(1974)に松浦市鷹島の海岸で蒙古軍の「管軍総把印」がみつかり、昭和55年(1980)からは海底遺跡の調査が始まりました。近年は、元の沈没船がみつかるなど水中からのアプローチが本格化しています。

元のパスパ文字で
刻字されています。
下級将校クラスのもの
管軍総把印▶



このほかにも、対馬には文献から蒙古軍が上陸したと考えられる佐須浦があり、壱岐にも県の史跡に指定されている「文永・弘安の役」の古戦場があります。これまで発掘調査が行われたことがなかったこれらの遺跡について、今回初めて考古学的な発掘調査を行いました。



▲海底での調査風景

さらに、壱岐には蒙古軍との関連も伝えられる海底から引き揚げられたたいかり石などがあります。調査を通して「蒙古襲来」と関わりのある仏像の存在も明らかになってきました。

水中と陸上から「蒙古襲来」の痕跡を探る新たなアプローチについて紹介していきます。

松浦

「弘安の役」と鷹島

「文永の役」の失敗から7年後の弘安4年(1281)、元のクビライは再度の日本への侵攻を企て、高麗から発した東路軍と中国南部を発した江南軍が7月に平戸、鷹島沖で合流しました。そこから博多湾を目指そうとしましたが暴風雨となり、多くの軍船が沈んだという記録があります。

鷹島では、昭和55年(1980)に初めて水中調査が実施され、その後40年以上にわたって継続的に調査が行われており、平成23年(2011)には、琉球大学(現:國學院大學)池田榮史教授を代表とする研究チームによる調査で、水深約23mの海底から元の軍船のものと考えられる船底(竜骨と外板)が発見され、「鷹島1号沈没船」と命名されました。翌年3月には、これまでの調査・研究の成果から鷹島海底遺跡の一部である神崎港沖約384,000㎡が、「鷹島神崎(こうざき)遺跡」として海底遺跡では初めて国の史跡指定を受けています。

▼ 鷹島の位置



▲ 海底での様子(いかり木材)



▲ 海底での様子(いかり石)

元の軍船の「いかり」を引き揚げる

令和4年(2022)10月1日、「弘安の役」から約740年ぶりに「一石型木製いかり」が海上に姿を現しました。いかり引き揚げに係る調査は、9月15日から10月5日にかけて実施しました。

鷹島の南岸海域は「鷹島海底遺跡」として、弘安の役(1281年)に元軍の船団が暴風雨で沈んだ場所として知られています。

引き揚げた「一石型木製いかり」は、碇石が一つで歯のついた木材で挟み込む構造となっており、鷹島海域では初めての出土例です。これまで鷹島では、36個の碇石が見つっていますが、全て2つの石を組み合わせる分離型でした。

発掘調査の財源には、国県の補助金だけでなく、ガバメントクラウドファンディング(GCF)で募った資金を活用しています。令和2年(2020)11月20日から翌年2月17日まで「海底に眠る歴史!元寇のタイムカプセル引き揚げプロジェクト~過去を現代に!そして未来へ残せ!~」と題し寄付を募りました。目標金額1,000万円に対し、全国229名の方々から目標を上回る1,152万3千円の寄付が集まりました。特典の1つとしていた「木製いかり引き揚げ見学ツアー」には全

国から59名の応募があり、うち34名が、引き揚げの瞬間に立ち会いました。参考までに、見学ツアー参加に係る費用(船代、当地までの旅費、滞在費)は全て自己負担でした。

今回の調査は、港湾工事等に伴う緊急発掘調査では難しかった作業工程や必要な機材の調整、近隣養殖漁場への対策、引き揚げ後の保存処理工程や設備の準備など引き揚げのプロセスを事前に計画し実施しています。



▲ いかり引き揚げの様子

台風による中断はあったものの、事故もなく無事完了することができました。しかし、まだまだ作業は続きます。「いかり」の木材部分は、海底に約740年埋まっていたために、木材組織が劣化した状態になっ



▲ 引き揚げたいかり

ています。そのまま自然乾燥させると、収縮・変形してしまうため、形を維持するための保存処理が必要です。松浦市では、これまでの研究の成果を基に約3年の歳月をかけてトレハロース(糖類の一種)含浸法を用いて処理を行います。脱塩処理した上で、専用の処理槽で加温しながらトレハロース水溶液の濃度を少しずつ上げ、木材に浸透させていきます。十分に含浸が出来た後に乾燥させ、表面の余分なトレハロースを除去し、展示することとしています。処理の様子は、松浦市立埋蔵文化財センターで見学することができます。

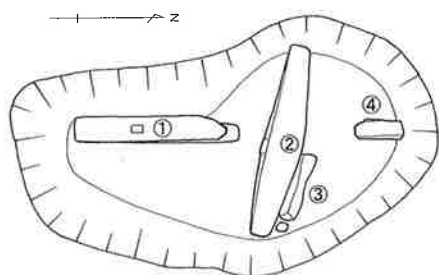


▲ いかり石引き揚げの様子

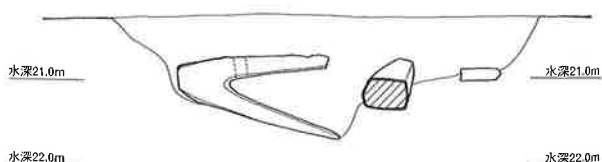


▲ GCF見学ツアーの様子

引き揚げられた「一石型木製いかり」



0 2m



水深21.0m

水深21.0m

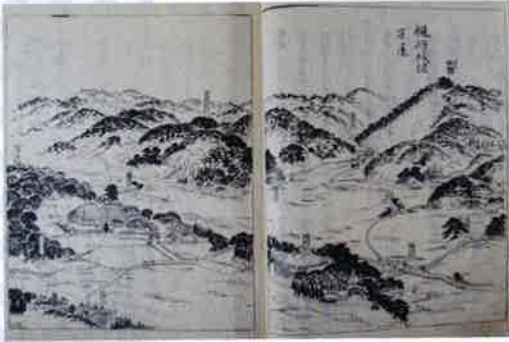
水深22.0m

水深22.0m

▲ いかり実測図

- 今回引き揚げたのは「一石型木製いかり」。鷹島1号沈没船から北西に約100mの位置にありました。
- 「一石型木製いかり」は、平成25(2013)年に水深約20mの海底で確認されました。
- いかりの木材部分(レの字の部分)は幅25cm、長さ175cm、重量157.5kgです。(図①)
- 碇石は、長さ230cm、中央部分が最も広く約50cm、厚さ35cm、先端部分の幅約20cm、厚さ約15cmです(図②)。
- 碇石の北側にあった幅・厚さ15cm、長さ80cmの石材も引き揚げを行いました(図③)。
- 碇石を挟んで、いかりの木材の延長上に幅約20cm、厚さ約15cm、長さ約50cmの角材が検出されており、今回引き揚げを行いました(図④)。

壱岐



『壱岐名勝図誌』より「樋詰城墟」▲
右下に「城墟」(樋詰城)が描かれています

壱岐における「文永の役」の記憶

「文永の役」における壱岐侵攻について、当時の古文書(八幡愚童訓)には、「島の西側に蒙古の船が着き四百人ほどが上陸、守護代平景隆が家人百人と『庄の三郎が城』で応戦したものの敗れて自害」とあります。これ以上に

詳しい文献はなく、戦いにちなんだ場所や地名の多くは伝承として受け継がれました。江戸時代の古文書(壱岐國續風土記)では、

『『庄の三郎が城』は勝本町新城のひのつめじょう樋詰城である』としています。これを根拠として明治期に平景隆の墓と新城神社が祀られたのです。



▲ 絵葉書「平景隆一門自刃スルノ図」
原画：矢田一嘯
明治末から大正頃、福岡市東公園にあった元寇パノラマ館発行の絵葉書



▲ 新城神社古写真(絵葉書)
右端の鳥居は大正6年(1917)奉献なので大正から昭和初期の写真です

県指定史跡「文永の役新城古戦場」とは

壱岐市勝本町の新城東触には「千人塚」があり、「文永の役」の歴史的意義を後世に永く伝える顕彰地として昭和50年(1975)に県の史跡に指定されています。指定の委員であった小島小五郎(国立歴史民俗博物館)は、当時の文献(八幡愚童訓)に記された平景隆が自刃したとする「庄ノ三郎が城」の場所は、現在の新城神社(樋詰城)であるとは確定できなかつつ、伝承や地形などから付近一帯が激戦の地であったことは疑いないとし、千人塚の指定について了承しています。当時の指定は、文献・伝承・地形などを根拠として行われ、発掘調査は行われていませんでした。



▲ 千人塚 史跡の範囲は塚と記念碑の周りのみです



▲ 発掘風景
後に見える建物は新城神社です

初の発掘調査～新城神社と唐人原～

「文永の役」の痕跡を発掘調査から探るために選んだのは、明治期に平景隆の墓が祀られ、新城神社が創建された樋詰城と、地名から蒙古との関係がうかがわれる唐人原です。樋詰城では、拝殿や



▲ 関連位置図

本殿の周辺で発掘を行いました。戦いの痕跡を裏付ける遺構や遺物はみつかりませんでした。また唐人原も水田に突き出た低い台地の斜面で発掘を行いました。同様な成果でした。今回の結果だけで、すべてを判断することはできませんが、乏しい文献史料や伝承にもとづいた近代における場所の推定に一石を投じるものと言えるでしょう。



平景隆と長徳寺の阿弥陀如来像 ～「文永の役」に遭遇した仏像～

芦辺町長徳寺の「木造阿弥陀如来立像」は平安時代末期の作で、長崎県指定有形文化財に指定されています。郷土史家の山口麻太郎は、長徳寺の前身である見性寺は、瀬戸浦の船匠城を居城とした守護代平景隆の持仏堂であったと推測しています。この仏像が平景隆の持仏として「文永の役」に遭遇したとすれば、「蒙古襲来」に関わる間接的な物証として見直すことができるかもしれません。

◀ 阿弥陀如来立像 壱岐には珍しい平安時代に造られた仏像です

芦辺港周辺のいかり石

壱岐東岸の芦辺港の周辺では、帆船時代のいかり石が複数みつっています。海底から引き揚げられたものですが、現在は供養塔や墓標、ご神体などに転用されているもののほか、壱岐神社には「元寇いかり石」と伝えられるものがあります。実際に元の軍船に使われていたものかどうか判明していませんが、複数のいかり石が遺されていることは、芦辺浦が古くから海上交通の要衝であったことを示しています。弘安4年(1281)の「弘安の役」の際には、肥前の御家人龍造寺氏(りゅうぞうじ)が瀬戸浦で蒙古軍と戦った記録があり、付近に蒙古軍が襲来していたことは確かなようです。



▲ いかり石の分布

対馬

「文永の役」と対馬

文永11年(1274)10月3日、蒙古軍は対馬の佐須浦に侵攻しました。対馬の地頭代宗資国は、少数の手勢で応戦しましたが敗れました。蒙古軍は、その後、壱岐から博多湾へと侵入し、日本勢との激戦が行われましたが、10月21日には突然姿を消したとされます。このことから、蒙古軍による対馬の占領は、20日間ほどであったと考えられます。佐須の下原には、宗資国の墓と伝えられる「お首塚」が、櫻根の法清寺には「お胴塚」がありますが、これらについては江戸時代の古文書に記載されておらず、その型式も新しいことから後世の供養塔であると考えられます。



▲宗資国胴塚古写真(絵葉書)
昭和13年(1938)対馬要塞司令部許可とあります



▲絵葉書「宗資国討死スルノ図」 原画:矢田一嘯

蒙古軍の上陸地点はどこか

現在、佐須浦において蒙古軍の上陸地として広く知られているのは、小茂田浜です。その地にある小茂田浜神社は宗資国を祀り、もとは軍大明神と呼ばれました。神社がある砂丘の内側は、江戸時代に干拓されたもので、その前は遠浅の海岸で、満潮時には川にそってかなり奥まで船が入る入江だったと考えられています。このため、蒙古軍が上陸した「佐須」は現在の小茂田浜ではなく、より上流であったと考えられます。江戸時代の国学者である藤仲郷は、神田原(現在の金田小学校付近)と考え、これを支持する永留久恵氏は、宗資国は下原の若御子神社の前に布陣したと推測しています。



▲佐須関連位置図

プロローグの『アンゴルモア元寇合戦記』とくらべてみてください



小茂田神社のある砂丘の内側 ▲
船溜まりの奥は江戸時代に干拓されたものです

発掘調査の成果～下原と樫根～



▲ 出土遺物
中世前期(11～13世紀頃)の土器や陶磁器で、
産地は日本・中国・韓国です

発掘調査は、これらを踏まえて佐須川を挟んだ下原と樫根から適地を選びました。下原は、若御子神社の側と龍泉寺前付近の2箇所、樫根は、公民館の前とやや西側の2箇所を調査することにしました。その結果、下原の龍泉寺前から、鎌倉時代の中国産や国産の土器、陶磁器のほか、焼土(火を受けて

焼けた土)がみつかりました。これらが「文永の役」と直接結びつかどうかについては慎重な検討が必要ですが、蒙古軍の侵攻が推定される場所で、同時期の物証が発見された意義は大きく、今後のさらなる解明が期待されます。

焼土(中央の赤い土) ▶



「佐須」の歴史を見直す～法清寺観音堂の木彫仏像群～



▲ 調査風景(下原)
写真の右側が龍泉寺方向です

蒙古軍が上陸した佐須は、弘仁4年(813)にも刀伊(女真^{とい}族)の賊が来襲しており、古くから銀山(鶴野^{つるの})を有する重要な浦であったためと考えられます。佐須・樫根の法清寺観音堂には、16体の木彫仏像が伝わっています。これらは、江戸時代以前、鶴野の観音堂にあったもので、かつては「蒙古仏^{もくちよう}」と呼ばれ蒙古が攻めてきたときに海岸に漂着したものと伝え

られていました。これらは昭和48年(1973)と昭和63年(1988)に長崎県の有形文化財に指定されましたが、その際に行われた調査で、平安時代中期から末期の国内産であることが判明しました。鶴野銀山の繁栄とともに造られ、「蒙古襲来」にも遭遇したものと考えられます。

かつて仏像が伝わった鶴野と今回発掘成果があった下原龍泉寺前、宗資国の塚や銀山跡なども含めて一体的な視点で「佐須」を見直すことで、豊かな歴史を体感できることでしょう。



▲ 法清寺観音堂
明治21年(1888)に下原村鶴野の観音堂より木彫仏像群が移されました



▲ 木彫仏像群
かつては22体の存在が確認できましたが、現在は16体が伝わっています

歴史的出来事と「聖地巡礼」

松浦・壱岐・対馬における「蒙古襲来」の痕跡について最新の調査研究の成果を紹介してきました。水中に加えて陸上でも蒙古軍の攻撃による可能性を示す痕跡を発見することができました。こうした水陸の痕跡は、海から侵攻してきた蒙古軍の動きを直接示す物証であり、一体的に捉えていくことでその全貌が明らかになるものと期待されます。また、これらの痕跡は、小説・漫画・ゲームなどのストーリーにおける創造の真の源でもあり、歴史的出来事を直接物語る現場(いわゆる「聖地」)であるとも言えます。これらを巡る新しい旅に出かけてみましょう。

現地を訪ねると共に、
以下の関連施設でも様々な歴史を体感できます。
ぜひ足をお運びください。



松浦市立埋蔵文化財センター

長崎県松浦市鷹島町神崎免146
開館時間／午前9時～午後5時

TEL 0955-48-2098



壱岐市立一支国博物館

長崎県壱岐市芦辺町深江鶴亀触515-1

開館時間／午前8時45分～午後5時30分(最終入館は午後5時まで)

休館日／毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日休館)

※GWおよび夏休み期間中は無休 ※12月29日～31日休館

TEL 0920-45-2731



対馬博物館

長崎県対馬市厳原町今屋敷668-2

開館時間／午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日／毎週木曜日・年末年始

(木曜日が祝日・振替休日の場合はその後の最初の平日)

年末年始休館期間は12月28日～1月3日

※休館日は変更することもあります

TEL 0920-53-5100





鷹島海底遺跡引き揚げ遺物(長崎県埋蔵文化財センター)

主な引用・参考文献

- ◆ 相田二郎1958『蒙古襲来の研究』吉川弘文館
- ◆ 川添昭二監修1981『海から蘇る元寇』朝日新聞社
- ◆ 九州国立博物館・対馬市2017『対馬 - 遺宝にみる交流の足跡 - 』
- ◆ たかぎ七彦2015『アンゴルモア元寇合戦記』① KADOKAWA
- ◆ 長崎県教育委員会2018
長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第25集『鷹島海底遺跡』
- ◆ 永留久恵1965『対馬の古跡』対馬郷土研究会
- ◆ 永留久恵2009『対馬国志 中世・近世編』『対馬国志』刊行委員会
- ◆ 服部英雄2017『蒙古襲来と神風 中世の対外戦争の真実』中公新書
- ◆ 山口麻太郎1982『舌岐國史』長崎県舌岐郡町村会

本パンフレットは、
下記のHPよりダウンロードすることができます

長崎県教育庁学芸文化課

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/edu-gakubun/>



編集執筆：長崎県学芸文化課(川口洋平)、松浦市文化財課(内野義)、対馬市文化財課(監修)、彦岐市文化財課(監修)
デザイン：久保田由佳(長崎県埋蔵文化財センター)
竹下加奈子(株式会社ピーエス・クリエイティブ)
印刷：(有)東洋印刷所
発行：令和5年11月 長崎県・松浦市・対馬市・彦岐市



第69回 長崎県小・中学校児童生徒美術作品展

掲載作品は昨年度の「子ども県展」知事賞受賞作品です。

子ども県展

入場無料

子どもたちの感性に浸ってみませんか? 躍動する思い! はじける表現!



総合展

長崎県美術館
県民ギャラリー

会期

令和6年 1月16日(火) ▶
1月21日(日)

開館時間

10:00~20:00

会場連絡先

095-833-2110

巡回展

佐世保市博物館
島瀬美術センター

会期

令和6年 1月31日(水) ▶
2月4日(日)

開館時間

[入館17:30まで]

10:00~18:00

会場連絡先

0956-22-7213

壱岐の島ホール
(壱岐市)

会期

令和6年 2月15日(木) ▶
2月19日(月)

開館時間

[入館16:30まで]

9:00~17:00

会場連絡先

0920-47-4111

※総合展・佐世保市巡回展は、特別賞・特選の全作品を展示。入選作品の展示はありません。壱岐市巡回展は、会場の都合上、特別賞全作品、壱岐市の特選作品・入選作品(平面)を中心に展示。

お問い合わせ先

長崎県教育庁学芸文化課 教育文化班
「子ども県展」事務局 長崎市立高尾小学校

TEL 095-894-3385

TEL 095-847-9450

■主催/長崎県教育委員会 長崎県造形教育研究会 ◆共催/長崎市教育委員会 佐世保市教育委員会 壱岐市教育委員会

■後援/長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、共同通信社長崎支局、時事通信社長崎支局、毎日新聞社、読売新聞西部本社、KTNテレビ長崎、NIB長崎国際テレビ、NCC長崎文化放送、NBC長崎放送、NHK長崎放送局、エフエム長崎、株式会社長崎ケーブルメディア、TVSテレビ佐世保、光ネットワーク株式会社壱岐支店、長崎県中学校文化連盟

